

令和4年 第2回

愛西市立小中学校

適正規模等並びに老朽化対策地区検討協議会

【立田地区】

令和4年 第2回

愛西市立小中学校

適正規模等並びに老朽化対策地区検討協議会

【立田地区】

会議録

開会日時 令和4年11月10日(木) 午後 2時00分
閉会日時 令和4年11月10日(木) 午後 4時05分
場 所 立田支所 1階 第1会議室

●立田地区

■出席委員

会 長	水谷 瀧 男
委 員	石 黒 照 人
委 員	高 橋 和 希
委 員	中 野 利 哉
委 員	照 井 緑
委 員	岩 間 彰 子
委 員	原 秀 一
委 員	浅 野 忠 勝
委 員	伊 藤 幹 雄
委 員	平 野 英 明
委 員	野 田 た 忍 子
委 員	吉 次 章 浩

■欠席委員

副 会 長	中 野 俊 郎
委 員	服 部 惣 一 郎

■事務局	教育長	平尾理
	教育部長	三輪進一郎
	企画政策部参事	伊藤孝一
	教育部次長	小島洋志
	学校教育課長	猪飼政和
	学校教育課主幹	吉田光男
	学校教育課課長補佐	坪井靖史
	学校教育課主事	伊藤尚記

■市長部局	企画政策部危機管理課長	大野敦弘
	市民協働部市民協働課長	丹羽久美

■傍聴者 4名

1 開会

2 あいさつ

3 議事

(1) 市内の小中学校の現状について

(2) 学校規模適正化等について

(3) その他

4 閉会

<p>(事務局)</p>	<p>1. 開会 開会宣言</p>
<p>(教育長)</p>	<p>2. あいさつ 本日は大変お忙しい中、平日にもかかわらず、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。 10月20日に第1回の地区検討協議会全体会が開催されました。本日は、前回の全体会で話した概要を確認させていただきたいと思ひます。 地区検討協議会の前回の愛西市全体の検討協議会からの提案の中で、私たちが最も重く受け止めているのが、中学校の課題を早く解消せよという提言がありますので、ご議論いただかなければいけません。その考えに至った経緯についても説明させていただきますので、ご協議いただきたいと思ひます。 愛西市にある18校の中で立田地区3校は少子化に加え、老朽化がひどいです。佐屋中学校と佐屋小学校、立田地区の学校の5校については早めに着手しなければいけないと提言をいただいております。さらに、協議会案でいただいた立田中学校と佐屋中学校の統合について、立地的に通学でお知恵を借りなければいけないと思ひています。立田地区に関しては、他の3地区に比べ大変課題が多いです。皆様のご意見が最終的な決定意見でなくても、皆様のご意見を検討しながら進めていかなければならないと思ひています。 また、立田地区の協議会におきましては、市長部局から危機管理課長、市民協働課長が傍聴という形で同席いただいております。皆様方のご意見を施策に反映させていただきたく思ひますのでよろしくお願ひいたします。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>では、水谷会長よりご挨拶をいただきますので、よろしくお願ひいたします。</p>
<p>(会長)</p>	<p>会長として力不足だとは思ひますが、頑張っていきたいと思ひております。皆様の積極的なご意見をいただき、最終的にはある程度の方向性を決めないといけない気持ちでおります。今日の次第の中にたくさん書かれておりますが、今日だけで全て協議することはできません。新しく委員として入られた方もお見えですので、今までの流れ、全体の検討協議会から地区検討協議会へ提案いただいていることについても検討しなければいけないと思ひますので、よろしくお願ひいたします。</p>

(事務局)	<p>では、議事進行に移ります。会長に議事進行していただきますので、よろしくお願いいたします。</p>
(会長)	<p>3. 議事</p> <p>それでは、(1) 市内の小中学校の現状について説明をお願いいたします。</p>
(事務局)	<p>本日は、以前に配付させていただいている資料を基に説明させていただきます。</p> <p>また、議事に入る前に、議事録の作成について確認させていただきます。</p> <p>ご発言は、「委員」とさせていただきます。話し言葉は、書き言葉に直させていただきます場合があります。議事録の承認については、2回あとの会議、今日の会議ですと、第4回の会議までに委員の皆様にご覧いただき、修正等があればご連絡いただきます。その修正した議事録を第4回会議で承認いただき、愛西市ホームページに掲載させていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。</p>
(会長)	<p>事務局から説明のとおり、議事録の作成についてご了解をいただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p>
(委員)	<p>《全委員異議なし》</p>
(会長)	<p>異議がないようですので、そのような形で進めてください。</p>
(事務局)	<p>ありがとうございます。</p> <p>では、議事の説明に入らせていただきます。</p> <p>① 児童生徒数の推移</p> <p>「愛西市立小中学校適正規模等並びに老朽化対策検討協議会報告書」資料2-1「学校規模適正化・適正配置について」、2-3「愛西市立中学校生徒数の推移」、2-4「愛西市立小学校児童数の推移」、2-5「教員定数配当基準表」、資料2「津島高等学校、清林館高等学校進学者数」について説明</p> <p>② 老朽化の現状について</p> <p>資料「地区検討協議会への申し送り事項小中学校カルテ」について説明</p> <p>③ 学習内容・学習形態の変化について</p> <p>平成29年に学習指導要領が改訂され、学習内容が大きく変化しており</p>

ます。道徳の教科化と小学校の外国語ですが、道徳については、中学校の新しい指導要領の中で、「主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共によりよく生きるための道徳性を養う」とあります。小学校の英語の教科化もありますが、中学校の英語で新しい教育が導入されています。コミュニケーション能力を高める英語が求められており、「自分を表現する力を高め、事実をきちんと伝える力、さまざまな文化を受け入れ、自分の考えを発表する力を高める」ことが目的として記載されました。プログラミング教育に関しても、能動的なプログラミング教育が求められるようになりました。自分でどのようにソフトを使うかを判断すること、どのように問題解決するか自分で考える力を深めることが必要とあります。

ICT教育について、現在1人1台タブレット端末が配備され、端末を使った授業が行われております。タブレットを使用することで、自分の意見だけでなく、他の児童生徒がどのように考えているのか分かるようになりました。これまでは発言等でしか意見を発表する機会がなかったのですが、タブレットを使用することで自分の意見を発言するのではなく、書くことにより共有することができるようになりました。これにより、必要な能力を情報活用能力と表現しますが、自分の意見を周りに分かりやすく表現することができるか、また、相手の意見を聞いて、受け入れて自分の意見として表現する能力が必要になると言われています。

学びの共同体について、これまでの先生が生徒に教える授業から子どもたちが話し合いをするような授業が進められるようになりました。子ども同士が協働すること、先生や地域との会話や体験を通して自分の考えを広げ、深める授業が必要になるとされています。

これまでのように知識を詰め込むのではなく、持っている知識を組み合わせさせて発展させる力を育み、勉強だけでなく、社会の様々な場面で知識や技能が活かせるような子どもたちを育てることが求められています。

学習内容・学習形態の変化についての説明とさせていただきます。

④ 地域における学校の存在意義

地域コミュニティの核というのは、これまでも子どもたちを中心として多くあったと思います。PTAもコミュニティの形であると思います。地域の方が、昔のことを教えに学校に集まってくるというのも学校が持っていた役割であったと思います。

防災のことについて「愛西市立小中学校適正規模等並びに老朽化対策検討協議会報告書」資料4「避難所としての機能」を説明

⑤ 「協議会（案）」提案内容と提案理由

	「愛西市立小中学校適正規模等並びに老朽化対策基本計画（協議会案）」について説明
(会長)	① について委員の皆様、ご意見等ありますでしょうか。
(委員)	<意見なし>
(事務局)	資料1「学校区別児童生徒数調べ（未就学児童）」について説明
(会長)	資料1を踏まえて、ご意見等よろしいでしょうか。
(委員)	<意見なし>
(会長)	② について委員の皆様、ご意見等ありますでしょうか。
(委員)	立田中学校に立派なプールがありますが、プールの建築年数が分かればと思います。
(会長)	他にご意見等ありますでしょうか。
(委員)	<意見なし>
(会長)	③ について委員の皆様、ご意見等ありますでしょうか。
(委員)	<意見なし>
(会長)	④ について委員の皆様、ご意見等ありますでしょうか。
(委員)	<意見なし>
(会長)	⑤ について委員の皆様、ご意見等ありますでしょうか。
	立田地区に関わることとしては、基本計画（協議会案）で佐屋中学校と立田中学校を統合する方向性が検討協議会で確認されてこちらに提案が出ております。それから、小学校についても地区検討協議会で考えていかないとけません。

(委員)	<p>令和 8 年度を目途に合併を計画とありますが、令和 8 年は今の小学校 5 年生の保護者が中学 3 年生時に合併となります。中学 3 年生の時にいきなり佐屋中学校に合併するのではなく、環境の変化、進路の関係、合併に対しての反対もあります。例えば、3 年生で佐屋中学校に行くよりは、入学と同時に佐屋中学校に行った方が良いという保護者の意見もあれば、5 年生の時から立田に入学するのではなく、佐屋への入学を考えられるという意見も一部でありました。また、防災に関しては、小学校中学校が指定避難所ですが、合併になった場合、佐屋地区には市役所、文化会館、佐屋中学校と避難場所がありますが、立田地区は学校が無くなることで、跡地、避難場所がどうなるのかと意見がございました。</p>
(会長)	<p>通学の問題や合併の時期についても本協議会の中で協議いただけたらと思います。</p>
(委員)	<p>立田南部小学校 5 年生のグループラインで結構激しい議論がありました。令和 8 年度末までであれば、5 年生は 3 年間を立田中学校で過ごされて卒業することになるのではないのでしょうか。</p> <p>情報が錯綜しておりますが、令和 7 年度末までであれば、5 年生は中学 3 年生になる前に佐屋中学校で過ごすことになると思います。</p>
(事務局)	<p>協議会案で提案いただいている内容の中に、①で「令和 8 年度末までとすることが望ましい」と表記はありますが、老朽化対策、配置の確定、どの段階で移るかを今後詰めていく時に、検討協議会案では「令和 8 年度末」とありますが、地区協議会でもご議論いただき、確認していただけたらと思います。実際のタイムスケジュールを確認すると、どの学年がどうなるかを改めて確認する必要があります。</p>
(会長)	<p>他にご意見等ありますでしょうか。</p>
(委員)	<p>これは、検討協議会からの申し送りで会議が開催されておりますが、どうしても急にやらないといけないのでしょうか。</p> <p>先日、運動会を見学しましたが、小規模は小規模なりにかわいい、素晴らしい演技をやっており捨てがたいです。勉強の学力がついていけなくなるとよくないと思いますが、子ども優先に考えていきたいので、私たちがこうしよう、こうしようではなく、子どもの立場になって考えていきたいです。</p> <p>ただ、弥富市もやっていると聞いたため、全国的にそうなっているの</p>

<p>(教育長)</p>	<p>かと思いますが、早急にやらなければいけないものかと思いますが。</p> <p>立田地区の体育大会にお邪魔しましたが、確かに仲良くやっており、非常に良いと思いました。ただ、私たちが問題としているのは、中学校のクラス数が減ってしまうと、ハード面では専門教科の先生が揃わないことです。例えば、教えることができても評価が慣れていないことや慣れていないものが教えていくことに、良いのか不安もあります。教科が違うとやり方も全く違います。受験教科はしっかり行い、技能教科はあまり重きを置かれていないと耳にしたこともあります。</p> <p>一番に言いたいことは、中学校は教科専門制のため、先生が揃うには一定の人数が必要になると思います。専門教科以外の先生でも良いというのはあまりよろしくないと思います。これがずっと続くことは子どもたちにとってもよくありません。先生もやったことがないことを子どもに指導することは、可能かもしれませんが、専門教科の先生には劣ります。これ以上進んでしまうと、学校運営が厳しくなります。子どもたちの視線に立つことも大事ですが、環境を整えることもご理解いただきたいと思います。</p>
<p>(会長)</p>	<p>まずは、中学校を優先に考え、小学校もいずれという捉え方でお願いしたいと思います。</p> <p>他にご意見等ありますでしょうか。</p>
<p>(委員)</p>	<p><意見なし></p>
<p>(会長)</p>	<p>次に(2)学校規模適正化等について入ります。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>⑤ 中学校統合についての是非</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料「令和4年6月改訂 愛西市立小中学校適正規模等基本方針」について説明 ・配置場所について「愛西市立小中学校適正規模等並びに老朽化対策検討協議会報告書」資料1「佐屋中学校からの通学距離」について説明
<p>(会長)</p>	<p>委員の皆様、ご意見等ありますでしょうか。</p>
<p>(委員)</p>	<p>専門的な先生から授業を受けられないため中学校を優先との話でしたが、これだけグローバルな時代で技術がある中で、先生の配置が可能な</p>

	<p>いから中学校を潰して佐屋中学校へ行くのはすごく乱暴に感じます。例えば、その時だけ Web を使いビデオで参加する方法はあると思います。</p> <p>保護者の立場から発言しますが、「後から検討します」と決まってからの検討は、子ども目線ではありません。順序が逆だと思います。できることをやっていないと思います。</p> <p>また、老朽化会議と適正規模も同時に行っておりましたが、小学校も老朽化しているのになぜ後になるのでしょうか。子どもたちの安全が第一なはずなのに、後回しにされています。</p> <p>私は南川並に住んでおり佐屋まで 7.5km です。今は習い事のために毎週佐屋小学校の方まで行っていますが、車で 15 分、自転車でも 30 分から 40 分かかると思います。検討されていた会議録はすべて拝見しましたが、昔は 8km 通っていたと意見がありました。では、その時代の夏に 40°C の中で通っていたのでしょうか。子どもたちが一番犠牲になるので、やりたいことは分かりますが、保護者として何も発言しないと進んでいくと思い発言しました。</p>
(委員)	<p>私も同じ保護者の立場から発言しますが、早くしてほしいです。3 年が経ち IT インフラや iPad も配られ、家から授業を受けることはできます。ただ、面と向かって先生とのコミュニケーションを取ることの重要性は小中学生にとって、人格形成の上でも大きいと思います。</p> <p>小学校中学校を地区から無くなるのが子どもたちにとって犠牲との話もありましたが、前回配布いただいたアンケートを見てびっくりしました。子どもたちはある程度の規模を求めています。これは子どもたちのアンケート結果です。</p>
(委員)	<p>南川並に住んで見えるということでしたが、解決するには希望選択制にするしかないと思います。ただ、選択できる住所の範囲を決めなければいけないと思います。兄弟が通っているから下の子も通わせたいという保護者もいると思います。例えば、私たちの孫に「近くに中学校があるのになぜ遠い中学校に通わないといけないの」と聞かれた時に、「立田地区だった」と伝えると、「なぜ昔の話をするの」と言われると思います。中間的な住所地に置かれる生徒には、希望選択制で選んでいただくのが良いと感じました。</p> <p>立田地区は南北に長いですが、立田地区として一括りにされているのは距離の問題だと思うので、立田・八開・佐織・佐屋の学区の見直しをした方が良いと思います。統合になると、大体は大きいところに集約されます。ただ、中心部には役場等が揃いますが、愛西市の端も愛西市と言</p>

	<p>たいです。多すぎず少なすぎずの人数にするため、佐屋中学校を分けたり、学区の見直しをしたりしてほしいです。佐屋中ありきなのがひっかかります。学区の編成も考えられておらず、永和中と立田中に1つずつ学校を造ることも良いと思います。保護者の意見として、人数も距離もすべて佐屋なのが納得いきません。</p>
(委員)	<p>保護者や地域からアンケートを取らないのですか。</p>
(事務局)	<p>今の時点ですぐにアンケートを取るとは考えておりません。協議会として、アンケートを取りたいというのは一案であると思います。</p>
(委員)	<p>アンケートを取るのには問題ないということでしょうか。</p>
(事務局)	<p>問題ありません。</p>
(委員)	<p>先日、市役所で会議があったので雨の中、自転車で行きましたが大変でした。前回の会議で子どもの安全性の関係について、校長先生が自分の学校の生徒を1km程度移動させることが安全性に問題があるということであり、立田の7kmかけて通うことの安全性について何も議論されていません。</p> <p>例えば、南川並を草平に移動させることで、6km圏内で行けると思いますが、川沿いの子は6kmで通えません。その辺りを十分に議論する必要があります。</p>
(委員)	<p>佐屋中学校に配置することは前回の協議会で結論に近い部分にありましたが、検討することになるのでしょうか。</p>
(教育長)	<p>平成26年に立田と八開を一緒にしましよと方針が出て、その後に基本計画で3つの案の中で教育委員会が第1案で立田と八開の6校を一緒にしましよと提案しました。しかし、立田の2校と八開の2校は令和2年度に生まれた子どもを合わせても1クラスにしかありません。その数の子どもがそのまま中学校へ行くと確実に過小規模校になるため、検証していただきたいということで検証した結果、見直しが必要との地区検討協議会の前回の協議会で提案が出た経緯があります。教育委員会はこの提案を重く受け止めており、これを凌駕するような意見が出れば、検証することになると思います。老朽化や先生の配置について、数字で分かるため説明させていただきました。</p>

<p>(会長)</p>	<p>現在、300人ほどしか子どもが生まれていない中で、18校も学校があることを考えると、授業のあり方、中学校においては先生の数が揃わない問題が生じます。音楽の先生は1年生から3年生を見ますが、1週間に何時限もないため、他の教科も見てほしいとなります。負担が偏らないようにしなければなりませんので、専門教科の先生が教えるのが大事だと思います。中学校におけるデメリットは早めに解消しなければならないことを考えると、協議会案を凌駕するような意見があれば良いと思います。</p> <p>他の委員でご意見はありませんでしょうか。</p> <p>私はスタートの時点から関わっております。その時点では佐屋佐織も含めた全体で考え、少ない立田八開で考えていくことで平成28年の検討協議会で3案を出しました。地区説明会等でそれではいけないとの色々なご意見が出てきて、変わってきています。そして検証委員会の中で中学校を何とかした方が良いということで、検証委員会から地区検討協議会が設置され、具体的にどのような案をすれば良いかとでこのような形になっております。</p> <p>このような意見はどの会議でも出てきます。賛成もあれば、反対もありますが、一つの回答にしていけないといけないと思います。一個人の考えも大事にはなりますが、愛西市全体のことを考えていくことも大事なのではないかと思います。</p> <p>ですので、協議会案に沿いながら、具体的な案、例えば、先程委員がおっしゃった、立田学区の子がすべて佐屋中に行かず、佐織西中にも行った方がよいとかの具体的なことを決めていきたいと思います。</p> <p>最初は、私も自分の住んでいる地域の学校がなくなることは寂しい思いでしたが、会に参加していく中で段々と考えが変わってきて、ここにあります。ある程度、協議会案に沿いながらではありますが、この案がだめだというなら決議する必要があります。または、立田地区にアンケートを取って決めるのか。もちろんアンケートは、賛成、反対の意見があると思います。結論が多い方になってしまいますので、いずれにしても100%の結論がでないと思います。</p>
<p>(委員)</p>	<p>私は統計学を習っていましたが、アンケートはかなり危険です。なぜなら、問題の背景について皆さんが説明をしっかりと聞いた上で回答しないこと、配ったら全部回収しなければいけません。実施方法も十分検討し、回答の取り扱いについても十分気を付けていただきたいと思います。</p>

<p>(委員)</p>	<p>文部科学省が出している適正規模等の手引きより、今後に関して、どこを一番に考えていくかについて、保護者、子ども、地域とあります。協議会案は校長先生、有識者による立派な案ですが、最終的にどこを拠り所にするかで、保護者や地域の声を優先すべきだと思います。アンケートを取ることは危険かもしれませんが、ある程度民意として受け止めるべきだと思います。</p>
<p>(教育長)</p>	<p>アンケートについては、情報もないのにアンケートを取って、賛否を決めるのはいかがなものかと思います。この問題については、責任もって話をしないとまずいと思います。また、子どものことも非常に大事ですが、これだけ大きなプロジェクトを左右する際は、比較対象物を経験したことがある人が大事になると思います。ただ、子どもの意見として尊重はしたいですが、ある程度経験した保護者、卒業生、または、私たちが行った高校 1 年生へのアンケートのようなものがよいと思います。アンケートを行うのであれば、慎重に行いましょう。</p> <p>小学校について、立田は小学校の方向性もお示しいただきたいと思います。他の地域とは、老朽化が異なります。老朽化の進行が酷いのは、佐屋小、佐屋中、立田地区 3 校です。佐屋小、佐屋中について佐屋地区で話をしていかなければなりません。通学の問題についてもご議論をいただきたいと思います。</p>
<p>(委員)</p>	<p>以前、私は老朽化対策検討委員として愛西市の 18 校を視察しました。確かに、委員会でも老朽化のことで、統合問題もあるのに別々にして良いのかという意見もありました。ただ、今回は老朽化に関してということで、統合のことは据え置いて視察し、提言をさせていただきました。</p> <p>初めて、統合と老朽化を合わせて 1 つの案として提案されたことは良いことだと思います。1 つの案に対して思うことがそれぞれあると思います。1 つにまとまるとは思いませんが、案に対し、納得してはいないが、ある程度理解をしていかないといつまでも平行線のままだと思います。</p>
<p>(会長)</p>	<p>他にご意見等ありますでしょうか。</p>
<p>(委員)</p>	<p>老朽化のことで確認ですが、例えば、立田南部小学校の場合、南海トラフが来た場合、耐えられることができるのでしょうか。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>耐震に対する改修工事は施工されております。ただ、耐震工事はして</p>

<p>(委員)</p>	<p>いますが、コンクリート自体の劣化調査が行われておりません。構造としては大丈夫ですが、躯体そのものの状況が不明です。</p> <p>今の話をどのように捉えるかですが、議論の中で小学校から始めるか、中学校から始めるかとありますが、今のところに希望を持つという楽観的主義でいくと小学校は置いて、中学校の統合についての議論を進めていくことも1つの案だと思います。</p> <p>その話が前提であれば、今の老朽化の話で今すぐに壊れるという状況の中で、学校教育課としてどのような人格形成が学校で行われるかの重点を置くことが大事だと思います。</p> <p>前回の時に聞いたのは、例えばスウェーデンにも小規模の学校があるとお話しました。それは、人口密度の問題もあり、広いエリアの中に少ない人数を集めて小規模でやっても、地域コミュニティになるのかというと希薄になると思います。教員の経験から発言すると、ある程度の規模、人数があると良いと感じています。前提を一つずつ積み重ねていく中で、統廃合することは教育の質を担保するためには良いと思います。</p> <p>その中で校区の議論がありましたが、その中でも距離の問題に集中すると思います。大きな要素ということで、これまでの協議会で出されており、尊重するところだと思います。自分の時代は、歩いて集団登校をしていましたが、今よりは暑くなかったと思います。</p> <p>その中で通っていくとするならば、立田北部小学校については佐織西中学校へ円を引っ張ると入る資料がありますので、そちらに行けることを十分に考えても良いと思います。私の中学校時代はマンモス校で、途中で新しく中学校ができ、マンモス校が分離した経験もあります。別れたら別れたなりに中学校生活を送ってきました。コミュニティがある程度の人数の下で行われるのであれば、分散してもそれほど影響がないと思います。</p> <p>委員からの発言にもありましたが、立田南部小学校5年生のグループラインについて、経過が把握されていないと私も感じました。途中で佐屋中学校に統合されるにしても、校区の問題、一部の子たちが先に行くことになるかもしれないと懸念される意見もあったと思いますが、逆にモデル的になるようなことができるのではと思いました。魅力ある学校生活を送らせられる学校づくりを発信するアピールになると思います。学校に通えなくなるような子もいるかもしれないので、フリースクールを作ったりすることを考えてみてはいかがでしょうかと思いました。</p>
<p>(会長)</p>	<p>他にご意見等ありますでしょうか。</p>

	<p><意見なし></p> <p>(会長) 次回も色々と意見を出していただきますが、まずは委員の思いを伝えていただき、それから協議に移れたらと思います。</p> <p>(3) その他について事務局より説明がありますでしょうか。</p> <p>(事務局) 次回の地区検討協議会の日程の調整をお願いしたいと思います。第3回の立田地区検討協議会は、12月1日(木)午後2時からを予定しておりますのでよろしくをお願いします。</p> <p>(会長) これをもちまして、第2回愛西市立小中学校適正規模等並びに老朽化対策地区検討協議会【立田地区】を終わります。</p> <p>4. 閉会</p>
--	---